

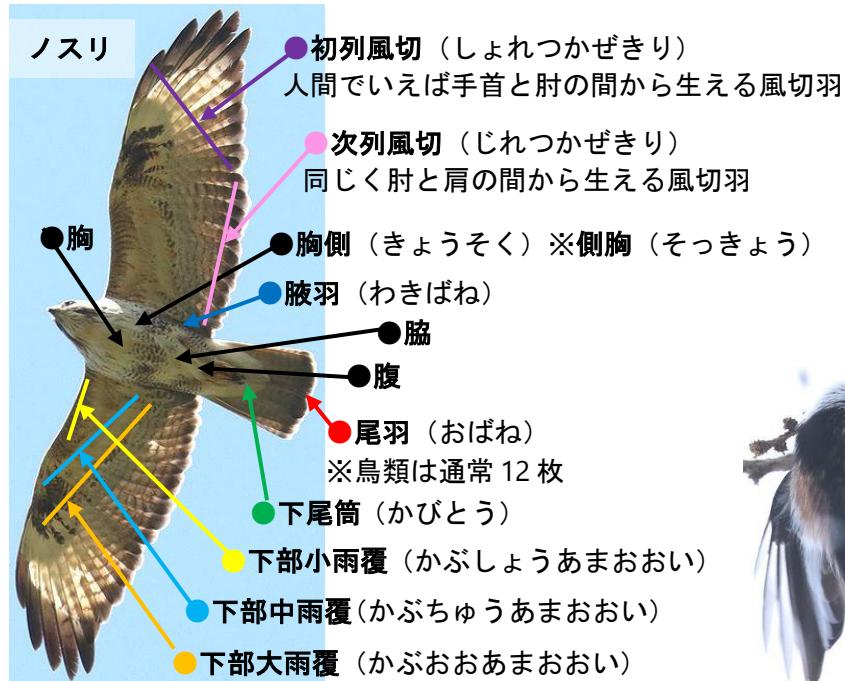
アカゲラ通信



野鳥の羽根と体の各部位の名称

野鳥の各部につけられた羽根と一部体の部位の名前を、野鳥の写真を使って説明します。

ほとんどの場合、人間の体に当てはめて「肩の辺り」「お腹の脇」といった表現を使い、「下尾筒がよく見える」「大雨覆の羽根がきれいに写ってる」などと野鳥の羽根の名前を使うことはあまりないでしょうけど、中にはある部位の羽根に特徴があるって、それが識別ポイントになる種もいます。



* 特徴的な羽根をもつ野鳥*



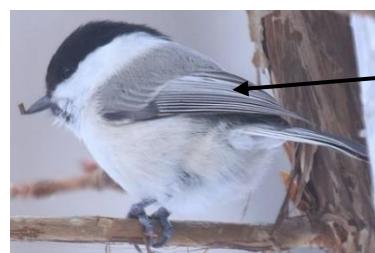
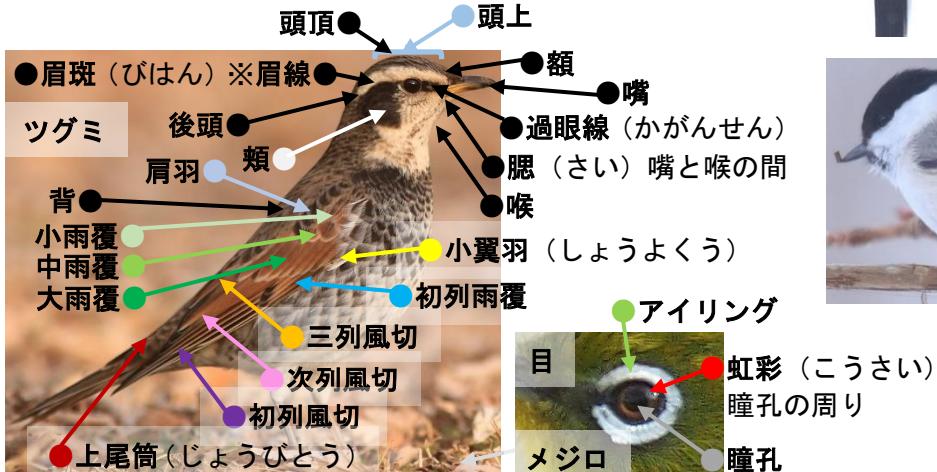
ミヤマカケス
初列雨覆と
その周辺が
青



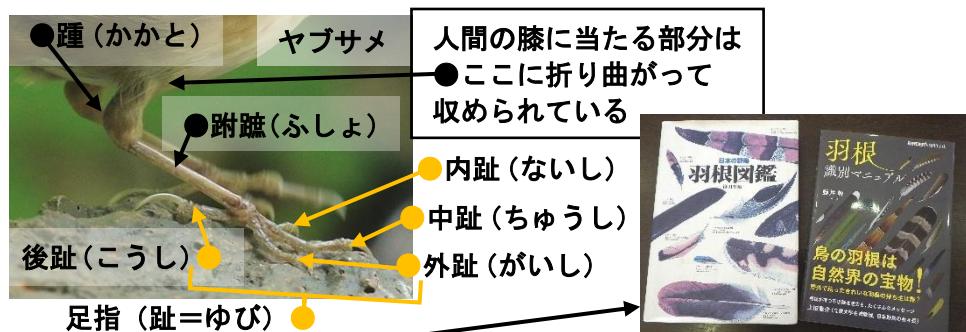
シマエナガ←
肩羽とその周辺がえんじ色



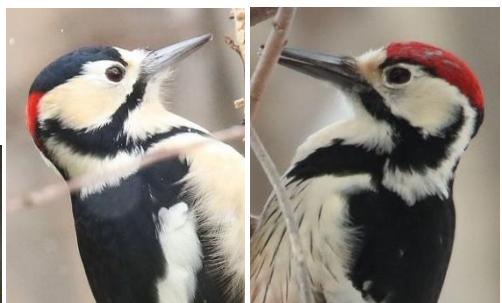
シマエナガ幼鳥→
亜種エナガ同様
眉斑が黒
成鳥で消失



コガラ←
次列風切が
目立って
白く見える
ハシブトガラとの
識別ポイント



アカゲラ(左) オオアカゲラ(右)
♂の頭の赤い部分は
後頭 頭上(頭頂)



森の家では2冊の羽根図鑑を自由に見ることができます。羽根を拾った時などにご参照ください。
野鳥の羽根が気になってきたでしょうか？ ぜひ意識して観察してみてください！

レストハウス「ぽるく」は2024年4月12日(金曜日)オープン予定です！

旭山野鳥メモ 59 コウライキジ

コウライキジ Common Pheasant *Phasianus colchicus* キジ目キジ科

日本では北海道にのみ生息する外来種。昭和初期に朝鮮半島や中国から導入され定着。北米にも導入。元々ユーラシア大陸に広く分布。

本州以南のキジは別の日本固有種だが亜種とする説もある。キジの雄は体が緑色だがコウライキジは明るい茶色。雌はどちらも地味な茶褐色のまだら模様。雄は「ケーン」と大声で鳴くのは同じ。

近くに防風林や疎林がある農耕地、草原、河川敷に生息。札幌市内近郊でも見られるが、積雪の少ない道南太平洋側の地域に多く生息。



旭山では1980年代前半まで見られたが近年記録がない。開けた場所にいる鳥で、旭山もかつてはハゲ山で住むのに適していたが、1970年の公園開基に際して広範囲に記念植樹が行われ、それらの木々が育ちかつ笹が茂ることで住むのに適した環境が徐々に失われ、ついにはいなくなつたと推測される。

つまり、旭山が森として育ったことにより見られなくなった野鳥。飛翔能力も強くはなく、旭山で今後見られることはほぼなさそう。最後の個体はいったいどうしたのだろう？ 飛んで逃げたのだろうか。小さなミステリー。

2024年3月の野鳥トピックス

旭山記念公園では、シマエナガの巣についての情報にはお答えしておりません。スタッフ等が巣を探すこともしていません。巣を探さないよう、そもそもし偶然シマエナガの巣を見つけてしまった場合、すぐにその場を立ち去り、以降そこには近寄らないようお願いします。

他の野鳥も巣の情報は公開していません（人に危害を加える可能性のあるハシブトガラスは除く）

●シマエナガ：イタヤカエデ樹液を飲みに来る時期ですが、

旭山ではそれほど集まっておらず、三々五々な感じです

●キクイタダキ：3月に入り観察機会が増えました

●イスカ：春にまた通過個体が見られる可能性があります

●ウソ：3月に入りまた時々見られるようになっています

●マヒワ：3月に入り観察情報がありましたがごく少ないです

●ベニヒワ：たまに見られますが1羽から3羽です

●キバシリ：まだ観察機会は比較的多く轟りもしています

●キレンジャク：2月も時々見られましたが数は少ないです

●ヒレンジャク：2月下旬に数羽いましたが、2月に見られるのは旭山では過去あまり例がないです

●カケス（亜種ミヤマカケス）：3月に入り観察機会が減り1日見られないこともあります

●クマゲラ：園内に時々やって来る程度ですが観察情報はやや多くなってきています



シラカンバ林(白樺林)

シラカンバは「先駆樹種」「パイオニアツリー」と呼ばれ、他の樹木が生えていない場所に種子が飛来し、先だって発芽し育って樹林を形成します。日光をたくさん浴びて育つ「陽樹」でもあります。

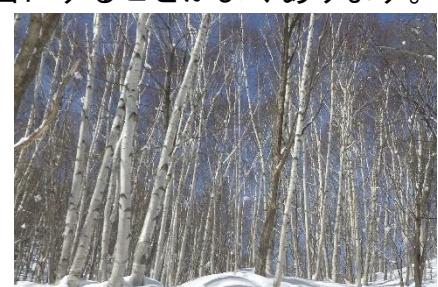
道内をドライブしていると、シラカンバがたくさん生えている場所を目にすることがあります。

それは「山火事の後」「地滑りの後」「火山灰が積もった後」「伐開地」

「農業放棄地」など、何らかの理由で過去に森林が消失した場所です。

シラカンバは寿命が人間と同じくらいで樹木としては短く、それらの場所のシラカンバの太さを見れば、何十年前に森林が消失したかを推測することができます。直径30cmならシラカンバとしては大木です。

旭山都市環境林にもシラカンバ林がありますが（右写真）、よく見ると、林内にミズナラやイタヤカエデなど他の樹木も育ってきています。



先駆樹種シラカンバは、他の樹木が育つとバトンタッチし、森林を形成する役割を終えます。



「アカゲラ通信」 第125号 2024（令和6）年3月8日発行

（公財）札幌市公園緑化協会 旭山記念公園管理事務所

<https://www.sapporo-park.or.jp/asahiyama/> 〒064-0943 北海道札幌市中央区界川4丁目

電話 011-200-0311（金・土・日・祝日 10時～16時）FAX 011-200-0351